

○ ワークショップ「マーケティング論・産業組織論」

開催責任者 ビジネス研究科 湯本祐司
経営学部 南川和充
2009年1月10, 11日
南山大学名古屋キャンパス J棟 415室

ワークショップは「マーケティング論・産業組織論」というテーマのもと、参加者約20名で、以下のプログラムで開催された。

◇報告者および題目

1月10日(土) 13:00-18:00

座長：倉澤資成(横浜国立大学大学院国際社会科学研究科)

報告者：李 東俊(京都大学大学院経済学研究科)

論題：Procurement System and Competitive Advantage

討論者：丸山雅祥(神戸大学大学院経営学研究科)

報告者：中山雄司(大阪府立大学経済学部)

論題：多店舗 POS データを用いた階層ベイズ分析：店舗内ブランド間競争を考慮した場合

討論者：鳥居昭夫(横浜国立大学経営学部)

報告者：鄭 潤澈(慶應義塾大学商学部)

論題：Commitment to a Price Policy in a Two-Period Duopoly with Switching Costs

討論者：松村敏弘(東京大学社会科学研究所)

報告者：成生達彦(京都大学大学院経営管理研究部)

論題：リベートをともなう返品制

討論者：石垣智徳(大阪府立大学経済学部)

1月11日(日) 9:30-12:30

座長：成生達彦(京都大学大学院経営管理研究部)

報告者：山下 悠(神戸大学大学院経営学研究科)

論題：The Logic of Franchise Contracts: Some Empirical Results

討論者：湯本祐司(南山大学ビジネス研究科)

報告者：大北健一（京都学園大学経営学部）

論題：Platform Selection of Video Game Software in Japan: Mixed Logit Model

討論者：中田善啓（甲南大学経営学部）

報告者：Le Viet Trung・丸山雅祥（神戸大学大学院経営学研究科）

論題：Modern Retail Formats in Vietnam: Prospects and Problems

討論者：王 海燕（京都大学大学院経済学研究科）

◇ワークショップの討論内容

1. 企業間競争や企業間関係に関する理論分析

調達の様式が内製型の企業と外注型の企業との間の最終製品市場における競争戦略、スイッチングコストを伴う市場における企業間の価格戦略、流通チャネルにおける最適な生産・販売戦略、について報告があった。モデルの妥当性などを中心に議論がなされた。

2. 企業間関係に関する実証分析

直営かフランチャイズかといった新規店舗展開の様式を規定する要因の実証研究、テレビゲームの新規ソフトのリリース先のハード機を選択する要因の実証研究、について報告があった。理論仮説と実証結果との対応などを中心に議論がなされた。

3. 小売市場に関する実証分析

小売店舗のプロモーション活動と販売量の関係のモデル化と将来販売量の予測手法、ベトナムにおける各種小売業態企業の経営実態に関する事例研究、について報告があった。前者の報告については、モデルの推定に利用された店舗 POS データの特色などを中心に議論がなされた。

◇研究成果発表

報告者が各自、学術誌などに論文投稿や学会報告を計画している。